

北海道作業療法士会 自助具コンテスト 応募作品の概要

*A4 用紙 3 枚にフォントサイズ 10.5pt にて記載してください。

<p>作品の名称</p>	<p>※20 文字以内で記入 手袋着脱くん</p>
<p>対象者の 領域</p>	<p>※該当する項目()に○を入れる。 身体障害 (○)、精神障害 ()、発達障害 ()、高齢者 ()、 その他 ()</p>
<p>自助具の 分類</p>	<p>※該当する項目()に○を入れる。 食事動作 ()、整容動作 ()、更衣動作 (○)、排泄動作 ()、入浴動作 ()、 コミュニケーション ()、趣味・余暇活動 () その他(トイレ掃除等)</p>
<p>用具の種類</p>	<p>※該当する項目()に○を入れる。 工夫・改良品 ()、個別製作品 (○) ※ 工夫・改良品市販品を工夫・改良し活用しやすくした物、個別製作品アイデアから個別に製作したオリジナルな物、 とする</p>
<p>応募作品の 概要</p>	<p>※作品の目的や効果、特徴、新規性・独創性（オリジナリティー）などを簡潔に記載する。 目的, 効果 片麻痺などの疾患によって片方の上肢の運動が制限されている c1 に適応されると考える。それらの疾患を持った c1 は非麻痺側の手袋の着脱が困難であると考え、とりわけトイレ掃除などの汚れ作業を行った後のゴム手袋を脱ぐ動作において、蒸れてくっついてしまって非常に脱ぎづらく、服などの摩擦ですらしたり、手を振ったりして脱ぐと考えるが、服などでずらさなくても脱げ、手間が省け、清潔が保てると考える。</p>
<p>工夫した ポイント</p>	<p>トイレなどの汚れ作業でも周りが汚れないというアイデアから作ったものであるが、冬の手袋の着脱についても十分可能であるため、基本的には片麻痺の人全般に適応であると考え。また、シールでつけることが出来、アパートでもつけることが可能であると考えるので、あまり住環境にも左右されない点で実用性がある。 また、非常に作成難易度が低いため、道具さえあればすぐ作ることが出来るという点がよいと考える。</p>

<p>利用上の留意点</p>	<p>※使用上の注意点、耐久性、衛生面といった留意点を記載する。 あくまで口の広い道具の適応を考えて作り、ゴム手袋などが適応であるため、軍手などの口の狭い手袋については脱ぐことはできてもつけるのは厳しいと思われる。また、手の浮腫がある人などは口に手を通すのが困難な恐れがある。 衛生面ではトイレ掃除後にトイレの水がついてしまい、汚れることが考えられ、不可なればならない。</p>
----------------	---

<p>作製の準備</p>	<p>※使用材質、道具、工具、材料費、などを記載する。</p> <p>材料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステンタオル掛け：500 円 ・洗濯ばさみ 2 こ：10 円 ・紐：10 円 <p>計 520 円</p> <p>道具</p> <ul style="list-style-type: none"> ・はさみ
--------------	---

※作品の外観、作り方・製作過程、活用場面について写真と説明文を用いて記載する。

※画像は最大 10 枚とし、自助具の特徴や使用状況が分かるような写真を使用する。

1. 作品の外観



2. 作り方・製作過程

①市販のタオルがけを購入し，2つの金具部分を紐で固定する。（何止めでもよし）



②上の金具の下部分に紐を巻き付け，そこから 10cm 先に洗濯ばさみが来るように結ぶ。



3. 活用場面

①壁に器具を取り付ける（立位時の胸と同じ高さの上端がくるくらい）。そして中指に棒が入るところにこちらから見て手背側に来るように手袋をセットする。



②手袋の掌側の左右2カ所を洗濯ばさみで止め、そのまま手袋に腕を通し、洗濯ばさみが離れるまで腕を上げる。



③手袋を使用した後は手袋の入り口を棒の上部分に入れ、そのまま腕を下におろし、引き抜く。



応募作品の特徴

<写真の使用に関して> ※該当する項目()に○を入れる。

用いている写真に個人情報が含まれる場合：

⇒対象者に同意を得ている ()、対象者に同意を得ていない ()、該当せず (○)

※ご記入いただいた個人情報は、本コンテストの目的以外には一切使用致しません。